



# ホンダ太陽株式会社 ホンダアールアンドデー太陽株式会社

〒879-1505 大分県速見郡日出町大字川崎3968 TEL 0977-73-1414

## 夢の実現化へ向けて 介護用チルト式車イス開発における「人が主役」となる職場

### 事業の概要

■沿革 昭和56年、本田技研工業(株)の特例子会社としてホンダ太陽(株)を開設。別府工場と日出工場の2工場を持つ。平成4年、更なる重度障害者雇用の拡大を目的に、日出工場内にホンダアールアンドデー太陽(株)を設立。両者とも、障害者自身を主体とした基本理念で運営を行っている。平成12年現在、両社併せて85名の障害者を雇用。うち63名が重度障害者で全役員の3割が障害者である。

■従業員数 ホンダ太陽(株)129名／ホンダアールアンドデー太陽(株)25名 合計154名  
うち障害者両社合計85名(ホンダ太陽63名 ホンダアールアンドデー太陽22名)(平成12年1月20日現在)

視覚障害者	聴覚障害者	肢体不自由者	内部障害者	知的障害者	精神障害者	その他
—	5 (5)	61 (58)	—	—	—	19

( )内は重度障害者

■事業内容 ホンダ太陽(株)：輸送用機器部品の製造・販売、福祉機器の開発・販売  
ホンダアールアンドデー太陽(株)：CAD設計、輸送用機器の研究開発

### 改善の概要

#### 改善の背景

「変化に強い企業体質」づくりを実践するため、親会社からの受注量に左右されず、障害者自らが自らのニーズに基づいた新しい発想の商品を開発し、将来の雇用の安定の一つの柱とすることとなった。

特別養護老人ホームから自動車利用の際に便利な車イス、養護学校から長時間座っていても子供が疲れず、介護する親にとっても楽な車イスはできないかとの要望があり、従業員からも電車や飛行機等で移動する際、車椅子の車幅や性能面で不便を感じるという声があった。

#### 改善の内容

そこで、このような障害者のニーズを反映した車イスを製作することは、経営の安定はもとより、働く障害者が「真に社会に役立つ存在」となるために、製造業であるホンダ太陽株式会社と設計業務を行なうホンダアールアンドデー太陽株式会社が共同でオリジナル商品(車イス)の開発に乗り出した。

ホンダ太陽 技術開発室が中心となり、開発プロジェクトチームを発足。市場調査→開発→モニタリング→製造→販売の一貫体制をとり、2000年1月の販売開始をめざした。

### 既存の製造ラインを障害者向けに改造

• すべての工程において、重度障害者が参画できる環境を作ることをめざした。既存の製造ラインに新たに車イス製造ブースを製作し、車イス使用者も生産が可能になるような機械の改造を行った。



製造ライン横に新設された車イス生産ブース

• すべての工程において、車イスでの作業を可能にする設備作業台の高さと安全対策を実施した。

• 車イスに座った状態で色々な方向から作業ができるように、軽い溶接用の治具を作成した。



TIG溶接機



溶接用治具



## 「介護用チルト式車イス AT-1」の完成

多くの展開施策を実践した結果、次のような特徴を持った車イスが完成した。

### 1 チルト機構

座面と背もたれが一緒に後向きに傾くことで、体重が脚から背中まで分散。長時間座り続けても楽である。さらに無段階に角度が調整できるため、体が安定し、快適である。

### 2 車輪幅が狭い

主車輪を外すと最大幅が44.5cmになり、電車の連絡等、狭い所でも移動が楽である。

### 3 横方向への移動がフラット

アームレストがワンタッチで取り外し可能。ベッドに横付けすれば容易に乗り移ることができ、介助も楽にできる。

### 4 パンク対策

新開発のパンクしにくいタフアップチューブを採用。パンク対策を万全にした。

### 5 その他

ヘッドレストの7段階高さ調整や4種類のブレーキシステム、カラーバリエーション、軽量化など、従来にはなかった多くの機能を持たせた。



通常使用状態



チルト使用状態

## 車イス製作・完成の効果

- ・個々のスキルアップと将来の体質強化の基盤づくりに貢献できた。
- ・職場全体の雰囲気高め、より重度の人たちへ「チャレンジすることの大切さ」を示すことができた。
- ・会社主体の改善ではなく、障害者主体の取り組みと成果となった。
- ・障害のある人たちが働きがいのある職場づくりをめざすことができた。